

ゆうりん

公式SNSも、
チェックしてみ
てください♪



@AMASYAKYO.9043



新年あけましておめでとうございます。
 昨年一年、ボランティアの皆さまのたくさんの活動に支えられて、ボランティアセンターの運営が
 できましたことに心から感謝申し上げます。
 ボラセンに配属され、あっという間に8ヶ月が過ぎました。皆さまの日々の活動、相談の一つ
 ひとつにたくさんの思いがあることを肌身で感じる毎日でした。皆さまの思いに応えていけるボラ
 センであるよう職員一同、力を合わせて頑張っていきます！
 新しい年が、皆さまにとって健康で、幸せに満ちた素晴らしいものになりますよう願っております。
 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。 【ボランティアセンター所長・中村】

✎“ボランティア”の現場から。⑨

尼社協では、2017年度から毎年「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を
 行ってきました。これまでは、災害ボランティアセンターの一連の流れを体験する
 内容でしたが、今回は初めての座学、神戸市社会福祉協議会の長谷部治さんを講師
 に、職員と「尼崎市災害ボランティアネットワーク連絡会」会員、約50人が集まり、
 研修を実施しました。

長谷部さんは、学生時代に起きた阪神淡路大震災でのボランティア経験から社協
 へ入り、これまで何度も、災害が起きた地域をかけまわっておられます。

多発・大規模化・広域被災という近年の自然災害の特徴に、「まずは社協職員自身
 も、家族も家も無事であり、安全の確保ができてはじめて、社協の業務に身が
 入る。社協の仕事は『生命、生活、生きがい』を守ること」と長谷部さん。阪神淡路
 大震災や被災地域での支援活動に関わったことがない世代の職員も、日々の業務
 に通じる話として、学びの多い時間でした。

緊急避難場所から避難所、応急仮設住宅、復興住宅という流れの中で、被災された地域の方と様々な場面で関わり、
 その後のコミュニティづくりまで、地域の人と活動するのが社協、だからこそ、災害ボランティアセンターの運営も、社協が
 中心となって、取り組む必要性を改めて実感しました。

「多くの人を救うことができる仕組みと個別の事情に対応できる仕組みの両立」、それが社協やボランティアの役割と
 という長谷部さん。誰かに言われて「派遣」されたり、思いを無視して「命令」されたりするのではなく、思いに共感して動く、
 ボランティアの“ちから”を再確認しました。



神戸市社協YouTubeチャンネル
 では、「災害ボランティア豆知識」と
 して、主に職員向けの災害対応研修
 動画が公開中、おすすめです！



【ボラセンメンバーより、新年のご挨拶】

あけましておめでとうございます。
 皆さん、どのような新年を迎えられましたか。新たな
 年を迎え、なんだか清々しく背筋の伸びる思いで
 す。はじまったばかりの2025年ですが、これまでの
 の積み重ねがあってこそです。
 これまでの良い部分は餅のようにう～ん！と伸ば
 しつつ、今年も笑顔あふれるボランティアセンター
 にしていきたいと思ひます。本年もよろしくお願い
 いたします。(足立)



「七転び八起き」でチャレンジの一年にしたいです。新しい
 ことに取り組むのはとても勇気が必要です。失敗すること
 なく出来るのがベストかもしれませんが、失敗しても起き
 上がって前に進みたいと思ひます。(幸田)

ぼちボラの会

2025年の初回は…

1月15日(水)10時から11時30分
尼社協ほっと館1階ロビー

- 当日参加できます(申込みなし)
 - いつ来ても、いつ帰っても大丈夫です
 - 持ちものは、ありません
 - エコ封筒づくりや切手整理などをします
 - ボランティアのご相談も、お気軽に^0^
- *2月は、14日(金)の予定です！



★ぷちボラクイズ★ 「阪神淡路大震災が発生したのは、1995年1月17日の何時？」

① 午前5時46分 ② 午後2時46分 ③ 午後5時46分 *答えは来月号で

【12月号の答え】「いわゆるボランティアの4原則、自発性・社会性・無償性、あと1つは「創造性」！」

だれかの普段の暮らしを支える制度やサービスがない、そんな「困ったなあ、なんとかならへんかなあ」という声に共感して、
 活動するボランティア！だからこそ、従来の考え方にとらわれることなく、自由な発想とアイデアが欠かせませんね！

コーディネーター
ひとりごと。



今年は、市内の小・中学校6か所(35クラス)へ、福祉学習(アイマスク体験、車椅子体験、手話、点字、高齢者疑似体験など)のお手伝いをさせていただきました。いろいろな立場や考え方を持つ人がいるということは大前提として、学習を通じて、自分と相手の違う部分を探して比較するだけでなく、自分と同じ部分を見つけたり、お互いに気持ちを共有したりする機会にして欲しいなと思っています。

少し角度を変えて考えてみることで、自分の心や人間関係が豊かになったりしますよね。福祉学習が子ども達の心の成長の一助になれば嬉しいです。

福祉学習に協力いただいている、村上知佐子さんから、コメントを寄せていただきました。

わたしは、生まれてから、これまでのことを、簡単に話した後、「嬉しい言葉の歌」と「平和ってすてきだね」の詩を朗読しました。その後は、生徒さんたちに、質問をして貰いました。眼が見えなくて困ったことはなにか、や、お風呂やご飯などは、どうしてるの？もし、眼がみえたら、何を見てみたいですか？などの質問があり、食事は、時計の針のいちでたとえて教えて貰うことや、シャンプーには、ぎざぎざがあることや、靴下の色を間違えないように、糸をつけて貰っていることや、眼が見えたら、自分の顔や、星などを見てみたいことなどを答えました。



真剣にメモを、とりながら、聞いてくれているということや、手をたくさんあげてくれた生徒さんもいてたということ、あとで聞きました。感想文が、届いて読んで貰っています。大人が忘れていた、純粋さが伝わってきます。

この学習をつうじて、私は、いろんなひとが、この社会には、いることを理解して、思いやりをもつ優しいおとなになってほしいこと。そして、毎日、平和に暮らしているのは、あたりまえではなく、感謝の思いをもってほしいなあと思います。

赤い羽根共同募金
手作り募金箱
ご協力ありがとうございました！



10月から約3か月間、「赤い羽根共同募金」月間にあわせ、ほっと館周辺の店舗・施設に設置いただいた、小学生のオリジナル募金箱、みなさん、ご協力ありがとうございました！

限られたスペースの中、レジや受付横に設置いただいたことで、より広く、たくさんの人に「じぶんの町を良くするしくみ」という共同募金の思いを、知ってもらう機会になりました。

ご協力いただいた地域の店舗のみなさんからは「赤い羽根ってよく聞けど、尼崎で集まった分は市内の活動に使われてるんやね～知らなかったわ」「かわいい募金箱やから、よく子どもたちも入れてくれたで！」「募金箱を作った小学生が、家族でお店に来てくれたよ」という声もいただきました。

詳しい報告は、2月以降のゆうりんにて。本当に、ありがとうございました！



←兵庫県共同募金会のインスタグラムでは、県内の取組みが発信されています！

【つづける、つながる、“ちから”になる。】 -順不同・敬称略-

バルマークの収集もありがとうございます！地道な収集活動、とても助かっています！1枚1個からでも、ぜひお持ちください！本年も、みなさんのご協力、よろしく申し上げます！



***ボラセンでは、「使用済み切手、プルタブ、バルマーク」のみ、集めています。缶詰のふた(付属のプルタブ)、空き缶のふた、ペットボトルキャップは集めていません。ふた等が混じっていると、仕分け作業の際にケガが起きますので、ご注意くださいと、うれしいです！**

【1月号のお名前
掲載について】

□1月号は、12月16日までにボラセンで受付した分を掲載しました。年末年始の配送業者の関係等です。ご了承ください。17日以降に受付した分は、2月号に掲載予定です。

【切手(整理含む)】

社会福祉士河本健二事務所/総合老人福祉センター/大庄むすぶグループ

【切手&プルタブ】

NPO法人神戸救急グループ/川崎和恵★/劉成朝/大源製菓(株)/びいす/ハビネス/花道会/演劇グループ/淡海プロデュース/わいわい広場/スイートビー

【プルタブ】

札元逸子/クボタ阪神ユニオン/ワイズ鍼灸接骨院/子ども食堂晴れるや/はばたく会/西野/彩の会/今雅子/成稔クラブ/長谷川達雄/藤木芳博/木之下智子/戸ノ内コミュニティ会館/浦富健二/友藤洋美/山下千代美/東第6琴浦クラブ/武幸二郎/中山陽子/塚口第三住宅福祉協会/沢本仁一郎/福喜園

【発行】 尼崎市社会福祉協議会ボランティアセンター 〒661-0033 尼崎市南武庫之荘3-24-5尼社協ほっと館3階

電話 06-4950-8863(平日9時~17時)/ファクシミリ 06-4950-8913/メール amavc@dream.ocn.ne.jp

■「ゆうりん」をメール配信で受け取りたい方は、メールにてご連絡ください。